

# セットアップガイド

## DVR-UN20GL

この度は、「DVR-UN20GL」(以下、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

### I-O DATA

B-MANU200907-01

## 動作環境の確認

対応機種 <sup>※1</sup>	USB 2.0ポート <sup>※2</sup> を搭載したDOS/Vマシン
対応OS <sup>※3</sup>	Windows Vista <sup>※4</sup> /Windows XP Service Pack 2以降/Windows 2000 Professional Service Pack 4以降 <sup>※5</sup>
搭載CPU <sup>※3</sup>	●データ保存時: Pentium III 500MHz以上 ●ビデオ編集・DVD録画時: Pentium 4 1.6GHz以上
メモリ	512MB以上
ハードディスク <sup>※6</sup>	空き容量: 10GB以上 (20GB以上推奨)
ディスプレイ <sup>※7</sup>	1024×768ピクセル以上の解像度
インターネット	以下の場合にインターネット接続環境が必要です。 ●DVD MovieWriterおよびWinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際 ● CPRM技術を録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterで編集する場合
対応メディア <sup>※8</sup>	●DVD: DVD+R <sup>※9</sup> 、●DVD+RW、DVD-R <sup>※10</sup> 、●DVD-RW、DVD-RAM <sup>※12</sup> 、DVD-ROM ●C: CD-R、CD-RW、CD-ROM

- ※1 より詳しい対応機種情報をお求めの際は、弊社ホームページ「I/O」にてご案内しております。 <http://www.iodata.jp/pi/>
- ※2 パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0環境で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。(Microsoft社製 USB 2.0ドライバ(推奨) 補給USB 2.0インターフェイスには対応しておりません。)
- ※3 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。  
●搭載CPU: Pentium 4 2.8GHz以上  
●OS: Windows XP ServicePack 2以降  
●チップセット: i915以降
- ※4 32bitのみ対応。
- ※5 Windows 2000は添付のDVDオーサリングソフト/DVDプレーヤーソフトには対応しておりません。
- ※6 Serial ATAまたはUltra ATA/66以上 (DMA転送モード) で接続
- ※7 Windows Vista<sup>®</sup> および Windows XP環境で CPRM 技術で録画された DVD メディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。  
●グラフィックアダプターボード  
・PCI-Express 接続  
・最新のドライバがインストールされていること  
・ HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載  
●ディスプレイ  
・ HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載
- ※8 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。  
●DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。
- ※9 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ※10 2層DVD+Rメディアに「B's CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。
- ※11 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。
- ※12 カードリッジから取り出し不可能なメディア (TYPE I) および2.6GB/面のメディアには対応しておりません。
- ※13 ●推奨メディア以外を使用した場合、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。  
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。  
●メディアメーカーの生産の都合上、入手困難となる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※14 「B's Recorder GOLD9 BASIC」にてコピー禁止機能付DVDを作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製の CPRM 対応 DVD-R/RW for VIDEO メディアをご利用ください。
- ※15 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。
- ※16 弊社は記録の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへのお問い合わせはご遠慮ください。
- ※17 「DVD-R HG1」メディアを使用した場合、高品質書き込みを行うことができます。(2008年5月現在) なお、高品質書き込みを行う際には、書き込み速度は8倍速に固定されます。

メディア	メディアの速度	メーカー名
1層DVD+R	16倍速 (最大20倍速書き込み <sup>※16</sup> )	太陽誘電
	16倍速 (最大18倍速書き込み <sup>※16</sup> )	TDK、日立マクセル、三菱化学
	8倍速 (最大16倍速書き込み <sup>※16</sup> )	太陽誘電、TDK
	8倍速	日立マクセル、三菱化学
2層DVD+R	8倍速	三菱化学
	2.4倍速 (最大4倍速書き込み <sup>※16</sup> )	日立マクセル、三菱化学
DVD+RW	8倍速	TDK、日立マクセル、リコー
	4倍速	三菱化学、リコー
1層DVD-R	16倍速 (最大20倍速書き込み <sup>※16</sup> )	三菱化学
	16倍速 (最大18倍速書き込み <sup>※16</sup> )	太陽誘電、TDK、日立マクセル
	16倍速 Labelflash <sup>™</sup> 対応	富士フイルム、弊社製DVD-R4-7LF
	8倍速 (最大16倍速書き込み <sup>※16</sup> )	TDK、日立マクセル <sup>※17</sup>
2層DVD-R	8倍速	太陽誘電、三菱化学
	4倍速	三菱化学
DVD-RW	6倍速	TDK、日本ビクター、三菱化学
	4倍速	TDK、日本ビクター、三菱化学
DVD-RAM	12倍速	日立マクセル
	5倍速	パナソニック、日立マクセル
CD-R	3倍速	パナソニック、日立マクセル
	三菱化学	
CD-RW	三菱化学	
	三菱化学	

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●DVD+R/+RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM/DVD-Rメディアは、既存のDVD-ROM/DVD-Rメディアプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが一部再生できない場合があります。  
●上記の条件を満たした場合は、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。Windows Vista<sup>®</sup>でご利用の際にはより高性能な環境を推奨いたします。

## 1. 準備しよう

### 内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ (1台)

シリアル番号 (S/N) をメモします

▼ サンプル

規格: DC5V 1.5A 型番: DVR-UN20GL  
DC12V 1.5A S/N: A0A0000000XX

▼ シリアル番号 (S/N) を下の枠にメモしてください。

シリアル番号 (S/N) は以下の際に必要な場合があります。  
■ ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>  
■ ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/fib/>

□ ACアダプター (1個)

□ USBケーブル (1本)

□ ゴム足 (4個)

☑ セットアップガイド (本書/1枚)

□ DVD Pro<sup>™</sup>ツールのコレクション (DVD-ROM/1枚)

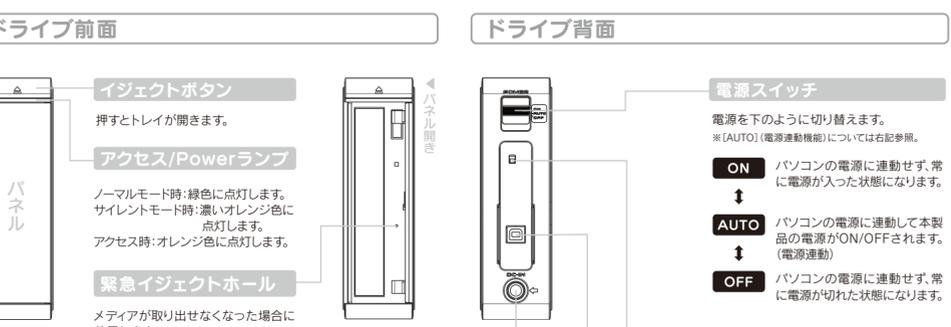
□ Ulead DVD MovieWriter アクティベーション・ CPRM対応キーダウンロードのご案内 (1枚)

□ ハードウェア保証書 (1枚)

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

### 各部の名称



● アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

● 本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。

● 本製品はクラス1レーザー製品です。レーザー光線による視力障害の原因となることがありますので、絶対に本製品を分解したり、修理、改造しないでください。

## 2. 接続しよう

### 本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合にはWindowsを管理者権限でログインしてください。

- 1 本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。
- 2 添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。
- 3 モード切替スイッチを[NORMAL]または[SILENT]にします
- 4 本製品の電源スイッチを[ON]または[AUTO]にします。
- 5 パソコンのUSBポートにつなぎます  
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

機種によりUSBポートの位置は異なります。

本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは?

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

起動時: パソコンをONにすればドライブもON!

終了時: ドライブの電源切り忘れなし!

注意: 電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きにする場合

- 1 本製品の底面に添付のゴム足を4個取り付けます。
- 2 イジェクトボタンが上になるように立てます。

横置きにする場合

- 1 本製品の横面に添付のゴム足を4個取り付けます。
- 2 イジェクトボタンが右になるように置きます。

注意: 縦置き時、8cmメディアは使用できません。

## 3. 確認しよう

### 正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して [マイコンピュータ] (または [コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

アイコンの追加を確認

Windows Vista<sup>®</sup>の場合

Windows 2000の場合

↑ (画面例: Windows XP、メディア未挿入、ドライブとして認識している場合)

注意

- ドライブ文字 (番号) は環境によって異なります。
- ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。(例: Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

こんなときには?

アイコンが追加されていない場合

- [表示]メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。) また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。

Windows Vista<sup>®</sup>でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

[続行]ボタンをクリックしてください。

「取り外しできない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、取り外しをおこなってください。 ※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

その他ご注意

- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。
- DVD/CDの読み込み中にモード切替スイッチを切り替えた場合には、動作が不安定になる場合があります。このような場合には一旦メディアを出し、再度挿入してください。
- 本製品はパソコンの省電力機能には対応しておりません。

## 4. 取り外し手順を覚えよう

ここではパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例: Windows XP)

- 1 画面右下にあるタスクトレイのリムーバルツールのアイコンをクリックします。
- 2 本製品の表示をクリックします。  
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字 (番号) で判断してください。(画面例: ドライブの場合)
- 3 メッセージを確認します。(Windows XP以外の場合は「OK」をクリックします。)
- 4 パソコンから本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。  
※電源スイッチが[AUTO]の場合、自動的に電源が切れます。(Windows Vista<sup>®</sup>ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。)  
※ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。

裏面へお進みください。➔

※1 サイレントモード時の最大読み込み速度は、DVDが最大5倍速、CDが最大10倍速となります。  
※2 USB転送最適化ユーティリティ(マザーUSB for BD/DVD)が無効の場合には最大18倍速となります。

